

平成21年度

「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」

取組名称：

未来を拓く地域人材育成を目指す  
異分野大学連携による「旭川キャンパス」

連携校名：

旭川医科大学、北海道教育大学旭川校舎、  
旭川大学、東海大学北海道キャンパス旭川校舎、  
旭川大学女子短期大学部、旭川工業高等専門学校

# 旭川ウェルビイング・コンソーシアムの設立

2008年5月26日



地域活性化のため連携する組織を設立させた旭川市内の大学・短大、高専の代表者らと西川市長（左から4人目）。右端は、代表委員会の委員長に決まった旭医大の吉田学長

教育機関で組織に加わったのは旭川医大、旭川高専のほか、旭川大、旭川大女子短大、東海大旭川キャンパス、道教大旭川校。組織名にあるウェルビイングは英語の「健康」、コンソーシアムも英語の「共同体」の意味。地域に医大がある特色を生かして事業を展開するという狙いが込められている。

計画によると、学部学生や大学院生の単位互換制度を設けたり、共同研究を進めるほか、教員向けに教育方法の勉強会を開催。一般市民向けに医療や健康に関する公開講座も開催する。具体的な事業は今年秋ごろからスタートさせる方針で、今後、複数の部会を設け、内容を詰める。

二十六日に旭川市役所で開かれた設立会議には西川将人市長、旭川医大の吉田晃敏学長、道教大の芝木邦也副学長ら約二十人が出席した。

市内5大学・短大、高専、市

## 地域振興へ共同研究

### 組織設立 市民向け健康講座も

旭川医大など旭川市内の五大学・短大と旭川高専、旭川市は二十六日、旭川の高専教育機関が連携し、教育を含む地域活性化を目指す組織「旭川ウェルビイング・コンソーシアム」を設立した。教育水準を高め、その幅も広げるため、各大学などが単位互換制度を設けたり、各大学の専門性を生かし、地域振興につながる共同研究などを進めるほか、医療や健康の分野を中心に一般市民向けの講座も開催する計画だ。

(五十嵐知彦)

席。組織の最高意思決定機関・代表委員会の委員長には旭川医大の吉田学長を決めた。吉田学長は「教育機関が一堂に会し、まちづくりに取り組むことに価値がある。地域はいろいろな面で冷え切っている。われわれが工夫し、地域の豊かさにつなげたい」と話した。

参考

# 旭川ウエルビーイング・コンソーシアム 連携校・関係自治体・諸団体等

- 中核機関：旭川圏域高等教育機関

- 旭川医科大学（代表）
- 北海道教育大学旭川校
- 旭川大学
- 東海大学北海道キャンパス旭川校舎
- 旭川大学女子短期大学部
- 旭川工業高等専門学校

旭川ウエルビーイング・  
コンソーシアム コアメンバー

- 関係自治体

- 旭川市 …… 運営協議会レベル担当：政策調整課

- 公設研究所

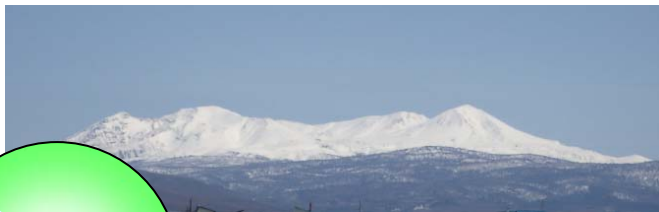
- 北海道立研究所（林産、北方建築、農業、食品加工、花卉・野菜）
- 旭川市立研究所（工芸技術センター、農業センター）

- 諸団体等

- 旭川商工会議所、旭川市医師会、旭川機械金属工業振興会、旭川家具共同組合、旭川デザイン協議会、市民団体

# 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの概念

参考



自然・  
食材資源

豊かな自然環境と安心安全な  
食材などの健康を支える基盤



教育・地域  
の新興

旭川市

旭川医科大学

地域住民

諸団体  
民間企業

旭川工業高等  
専門学校

旭川大学



旭川エリア住民の  
健康の保持増進

医療機関が集積する  
旭川エリアの地域優位性

生活環境、食品、健康保養等の  
産業を中心とした地元産業界

東海大学

北海道教育大学

医療資源

社会資源

各公設  
研究機関

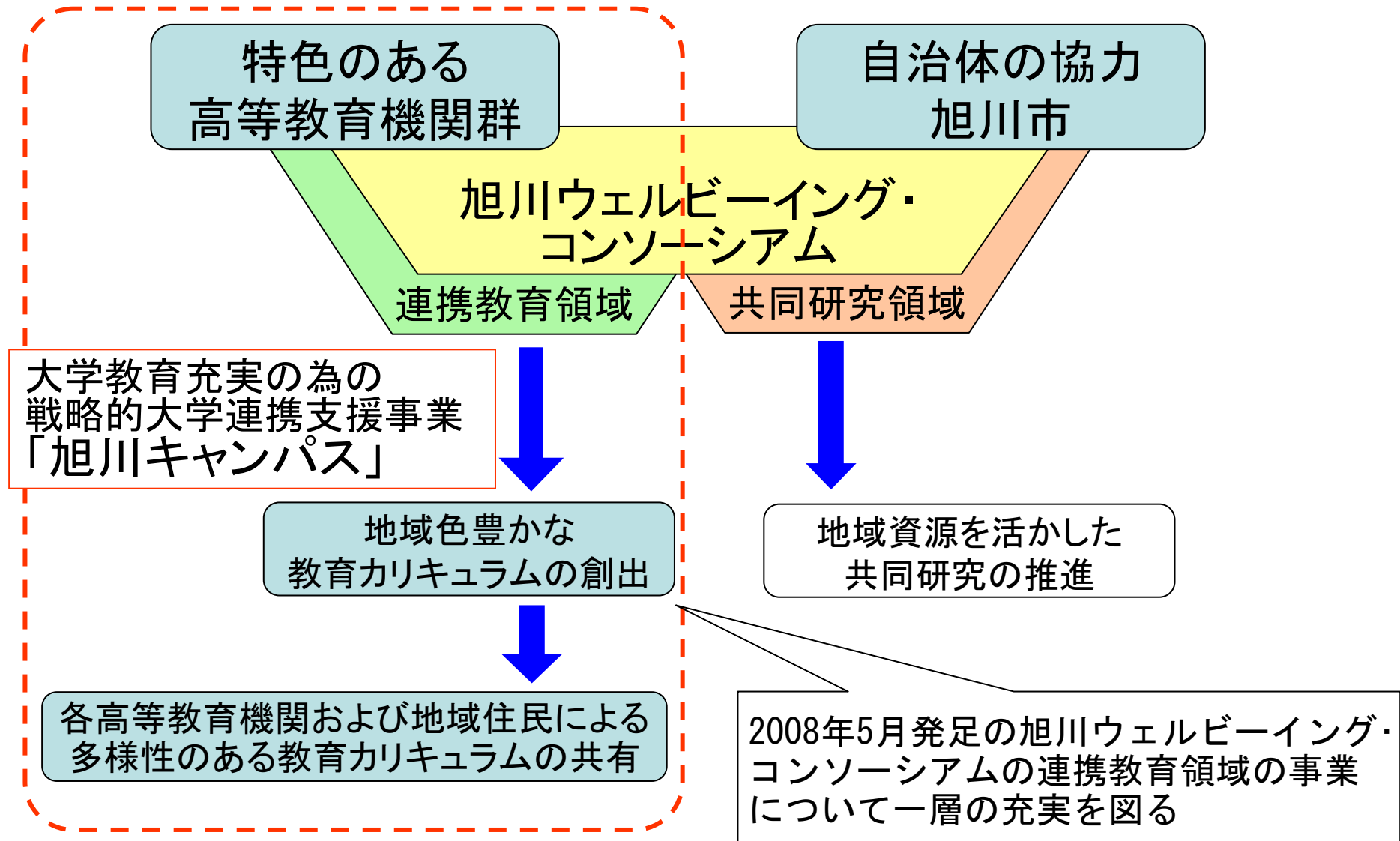


## 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの理念・目的

参考

旭川エリアが有する豊かな自然環境、森林、温泉、安心安全な農畜産物等の健康保養資源を基盤として、地域資源に根ざした居住・生活環境、農畜産・食品加工製造、健康保養・観光等の産業を中心とした産業界との協働と、圏域住民と行政の自主的・積極的な参加のもとに、医療機関が集積する旭川エリアの地域優位性を活用し、旭川医科大学をはじめとする高等教育機関・公設研究機関等を中心としたコンソーシアムを形成し、科学的エビデンスに基づいた諸取組みを継続的に実践することにより、圏域住民の身体的・精神的・社会的な健康（ウェルビーイング）を達成するとともに旭川エリアの教育・地域振興を図ることを目指す。

# 「旭川キャンパス」と 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムとの関連



本支援事業での中核となる

# 旭川ウェルビーイング・による事業ー1 コンソーシアム

## I. 連携教育事業（対象：学部学生・大学院学生）

### 1. 多様性のある教育カリキュラムの創出

- 豊かな人間性、社会性を持った人材の育成・輩出
- 広い学問の修得を支援する教育カリキュラム

### 2. 地域コミュニティの参画による創造教育・共同教育の充実

- 学生の相互理解の促進による社会性醸成
- 地域社会による地域の高等教育への理解の促進
- ケース・スタディ(調査から提案までのスキーム型研究)、インターシップ<sup>o</sup> 成果報告、卒業研究、など

### 3. 旭川エリア学生会議の設置

- 学生の自主的活動を通じた地域に目を向ける人材の育成・輩出
  - 専門領域を越えた学生自主組織による共同社会活動への支援

### 4. 教員向け合同ファカルティ・デベロップメント(FD)の実施

- 教育理論・教授法についての生涯教育・研修の共同開催

# I-1.多様性のある教育カリキュラム

## ① 既存の科目の単位互換

- 意義

- 学生が多様な教育サービスを受けるチャンスの拡大
- 異分野教員の交流・相互刺激に基づく授業の質の向上
- 異分野学生同士の相互刺激・啓発による学習意欲の向上

- 具体

- 一般教育科目

- 選択者が少なく講師も少ない希少な選択科目（語学等）の共同開講

- 専門教育科目

- 専門性の高い専門科目の他分野学生への履修開放



# 1-1. 多様性のある教育カリキュラム

## ② コンソーシアム主導による共通科目の充実・認定

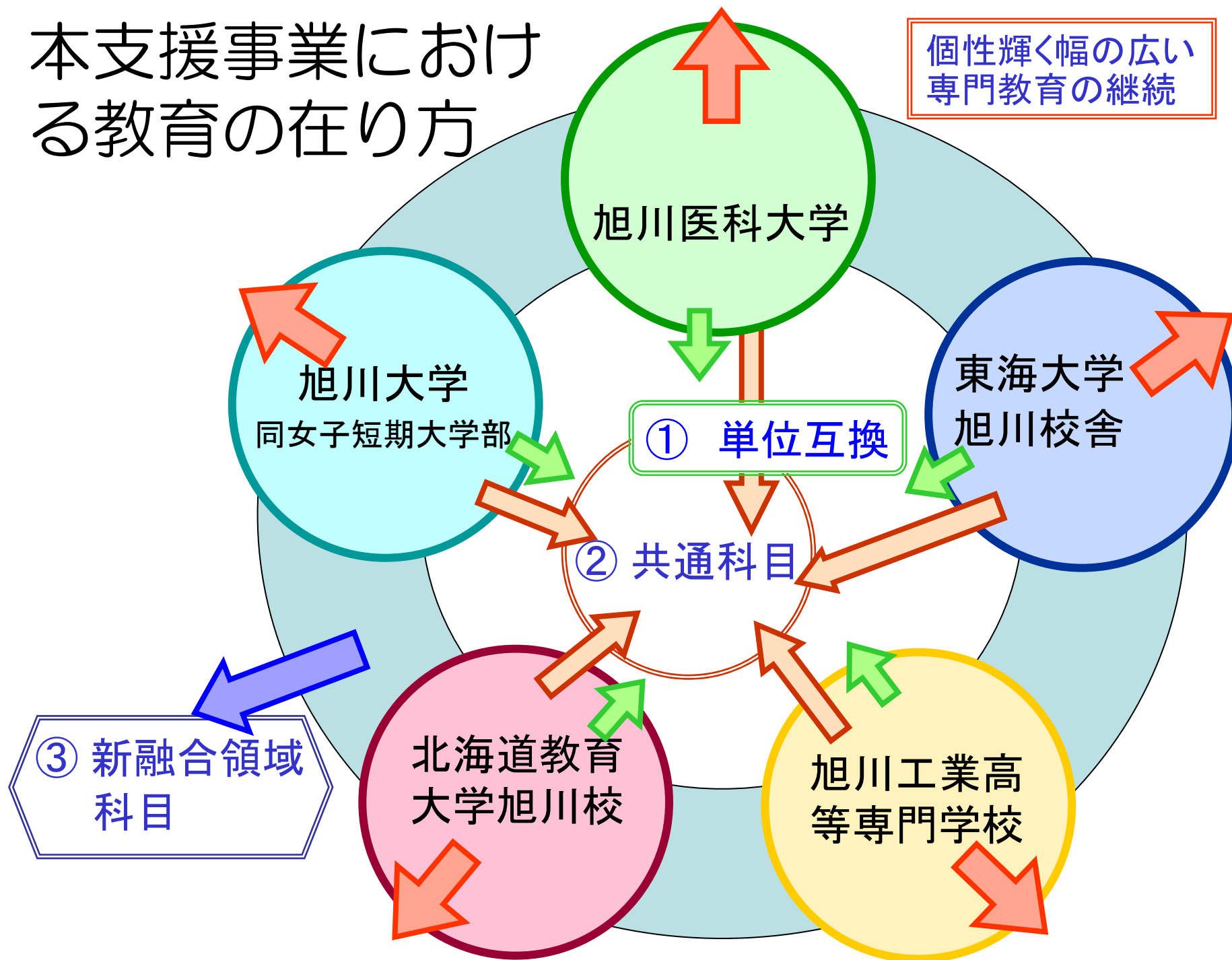
- 意義：連携による運営の効果的集約・科目内容の充実
- 具体例
  - フィールド実習、インターシップなど創造教育科目の学外交渉の集約
    - 地域包括医療・看護、地域保健・福祉、生産技術の領域でのフィールド教育
    - 社会貢献、地域活性化、街作りなどの地域体験活動
  - 連携による既存の専門科目の一層の充実
    - 既存専門科目の共同運営（教員の相互乗り入れオムニバス方式）

## ③ コンソーシアム主導による新融合領域科目の新設・認定

- 意義：広い視点に立つ地域での実践活動に役立つ知識・技術の取得
- 具体
  - 連携することで可能となる新規融合領域科目の創出
    - 包括医療（保健・医療・福祉）
    - 医工連携
    - 商工連携
    - 全人的教育、など
  - 他分野教員の参画による、プロジェクト型カリキュラムの充実
    - ゼミナール、卒業研究レベル

# 本支援事業における教育の在り方

個性輝く幅の広い  
専門教育の継続



# 1-1. 多様性のある教育カリキュラム

## 【実施手法】

### ● 遠隔教育システムの構築・運用

- 意義: 履修学生の便宜考慮
- 具体

- スカイプの利用による多地点同時授業
- 双方向遠隔通信ネットワークの活用による多地点同時授業
- e-ラーニングによる教育コンテンツの配信と自学自習教育
- 地域ケーブルテレビを用いた教育コンテンツの配信

### ● サテライト・キャンパスの設置・運営

- 意義: 履修学生の便宜考慮
- 具体: 履修学生の集合による講義展開
  - 場所: 市内中心部(歩行者天国、北彩都エリア、駅舎オープンスペース、情報発信センター旭川屋など)での開講
  - 運用: 共通科目開講時間帯の統一
    - 学生の移動を容易にする工夫(参加校での統一)

#### 《単位互換の現状》

- 学生が相互の大学を訪問
- 時間を要する、実績は少ない

# 1-2. 地域コミュニティの参画による 創造教育・共同教育の充実

- ① 地域における異分野連携型プロジェクト型学習
  - ・ 意義：総合的な地域の課題解決への実践能力の修得
  - ・ 具体：地域社会フィールドでの異分野学生の協調学習活動
    - ・ 合同ケース・スタディ（調査から提案までのスキーム型研究）
    - ・ 合同インターンシップ
- ② 地域に対する合同学習成果発信
  - ・ 意義：学生の相互理解の促進による協調性の醸成  
地域社会の地域高等教育への理解の促進
  - ・ 具体：成果報告会、卒業研究報告会の開催  
学習・研究成果の掲示（地域コミュニティ掲示、web）

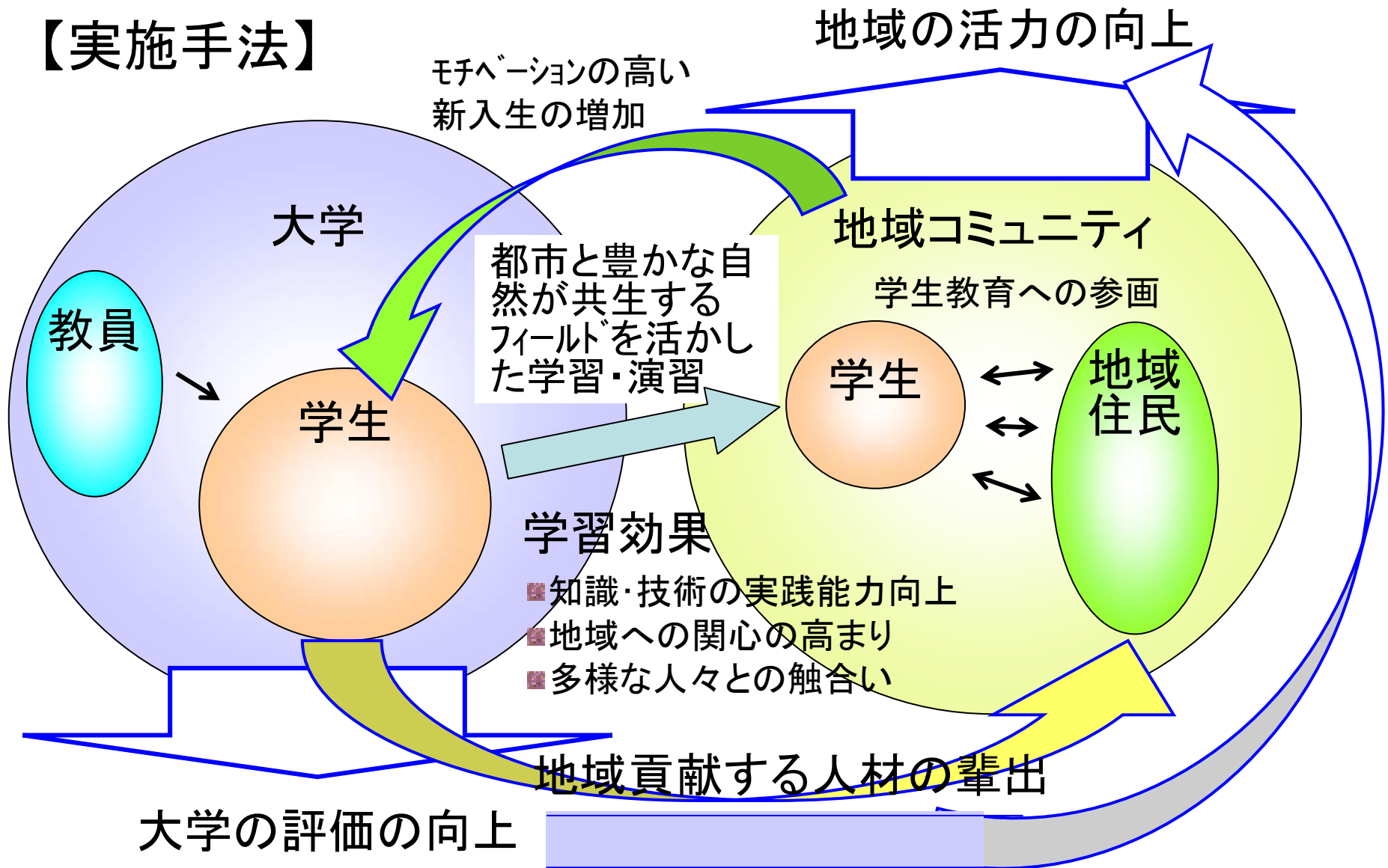
## 1-2. 地域コミュニティの参画による 創造教育・共同教育の充実

### 【実施手法】

- 都市と豊かな自然が共生するフィールドを活かす教育
- 地域コミュニティの学生教育参画
  - 意義：地域の課題に関する学習効果の向上  
地域貢献する人材の輩出
    - 知識・技術の実践能力向上（インターンシップ）
    - 地域への関心の高まり
    - 多様な人々との交流・相互理解
- 異分野学生の混成グループによる学習
  - 意義：総合的な課題抽出・解決能力の修得
- 具体：コンソーシアムと地域コミュニティとの連携

# 地域コミュニティの参画による学生教育

## 【実施手法】



# 1-3. 学生自主組織

## 旭川エリア連合学生自主組織の設置

### 意義：

- ・ 専門に偏らない広い人間性をもつ人材の育成・輩出
- ・ 地域に目を向け、地域と主に生きる人材の育成・輩出
- ・ コンソーシアム組織全体の教育の質向上
- ・ 学生組織による社会貢献
- ・ 卒業後の社会貢献への自主的参画の動機付け

### 具体：

- ・ 専門分野を超えた旭川エリア連合学生自主組織「はしっくす」の設立
- ・ 自主的な相互交流・地域活動の実践
- ・ 年代の近い地域の子どもの学習活動への支援・参画
- ・ 学生自主組織による共同社会活動への支援(コンソーシアム)
- ・ 学生によるコンソーシアムへの提言のとりまとめとコンソーシアムとの合同会議

# 1-3. 学生自主組織

- 【実施手法】
  - 市内中心部の活動拠点の確保
    - 意義：
      - 市内に散在する各大学学生への利便性確保
      - フィールド活動の拠点・討論の場
      - 活動成果の発信の場
  - 活動資金の確保
    - 意義：
      - 共同社会貢献活動への支援
      - コミュニティ・ビジネスの起業への訓練
      - 卒業後の地域コミュニティ活動の実践の意欲向上



## 1-4. 教職員の合同研修

- 異分野教員による合同での教授法の向上
  - 意義：異分野の教員の合同での研修により多様な教授法の応用・修得による教育能力の向上
  - 具体：教員向け合同ファカルティ・デベロップメント (FD) の実施
    - 教育理論・教授法についての生涯教育・研修の共同開催、交流の促進
- 多様な組織のスタッフによる合同での事務技能の向上
  - 意義：多様な形態の期間に所属する職員の合同での研修により良い部分の採用・応用による事務能力の向上
  - 具体：職員向け合同スタッフ・デベロップメント (FD) の実施

# 本支援事業での中核となる 旭川ウェルビーイング・による事業-2 コンソーシアム

## II. 連携公開講座等事業（対象：地域住民）

### 1. 旭川エリア市民を対象とする一般的な生涯学習・研修機会の提供

- ・ 意義：地域住民自らの知的欲求を満たす地域貢献
- ・ 具体：各種公開講座、研修会など

### 2. 旭川エリア小中高等学校児童・生徒の教育・研修への参画

- ・ オープンキャンパス、高大連携教育
- ・ 博物館・科学館等との連携：夏休み観察会・工作・実験など
- ・ 社会性涵養、科学マインド刺激型の教育プログラム
- ・ 地域資源を活用した体験型学習

### 3. 旭川エリア市民への地域再生に貢献する人材の育成・生涯研修

- ・ 意義
  - ① 地域コミュニティ作りに積極的に参画する人材育成
    - 》地域の課題を自ら見出し・解決する能力の取得
    - 》「旭川学」の普及・啓発・・・地域再生につながる市民力の底上げ
    - 》多様な市民活動の活性化支援
    - 》具体：旭川地域住民への公開講座・研修会・交流会の実施
  - ② 専門的領域の従事者への生涯研修
    - 》意義：地域
    - 》具体：包括医療従事者、金属・木材加工業従事者、機械加工業従事者への研修会の実施

## 11-1,2. 地域住民・子どもへの生涯学習・研修

### 1. 旭川エリア市民を対象とする一般的な生涯教育・研修機会の提供

- ・ 意義：地域住民の知的欲求を満たすための地域貢献
  - ・ コンソーシアム、高等教育機関への理解
- ・ 具体：各種公開講座、研修会、フィールド観察会など

### 2. 旭川エリア小中高等学校児童・生徒の教育・研修への参画

- ・ 意義：子どもから一貫した地域人材育成する地域貢献
  - ・ 地域の将来を担う子どもの教育に参画することで、初等から高等教育までの連続スペクトラムの中での地域貢献する人材の養成
  - ・ 地域から各高等機関へ入学する質の高い学生が育成される
- ・ 具体：
  - ・ 合同オープンキャンパス、合同進学説明会、高大連携教育
  - ・ 博物館・科学館等との連携：夏休み観察会・工作・実験など
  - ・ 社会性涵養、科学マインド刺激型の教育プログラム
  - ・ 地域資源を活用した体験型学習の支援（農業体験研修など）

## II-3. 旭川エリア市民への地域再生に貢献する 人材の育成・生涯研修

### ① 地域コミュニティづくりに積極的に参画する人材育成

- 意義：異分野領域の専門家の連携による、多様な年代・職業から成り立つ地域コミュニティの持続的発展の支援
  - 多領域にまたがる地域の課題を自ら見出し・解決する能力の取得
  - 「旭川学」の普及・啓発・・・地域再生につながる市民力の底上げ
  - 多様な市民活動の活性化支援
- 具体：旭川地域住民への公開講座・研修会・交流会の実施

### ② 専門的領域の職業従事者への生涯研修

- 意義：地域の特色ある産業群に従事する人々への専門的生涯教育による産業の質の維持・向上の支援
  - 地域の産業・経済の持続的発展
  - 健康関連産業の振興による地域住民の健康の保持・増進
- 具体：包括医療、保健・癒し系産業、金属・木材加工業、機械加工業、IT企業などの従事者への研修会の実施

# 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムによる事業-III, IV

本支援プログラム対象外（波及効果）

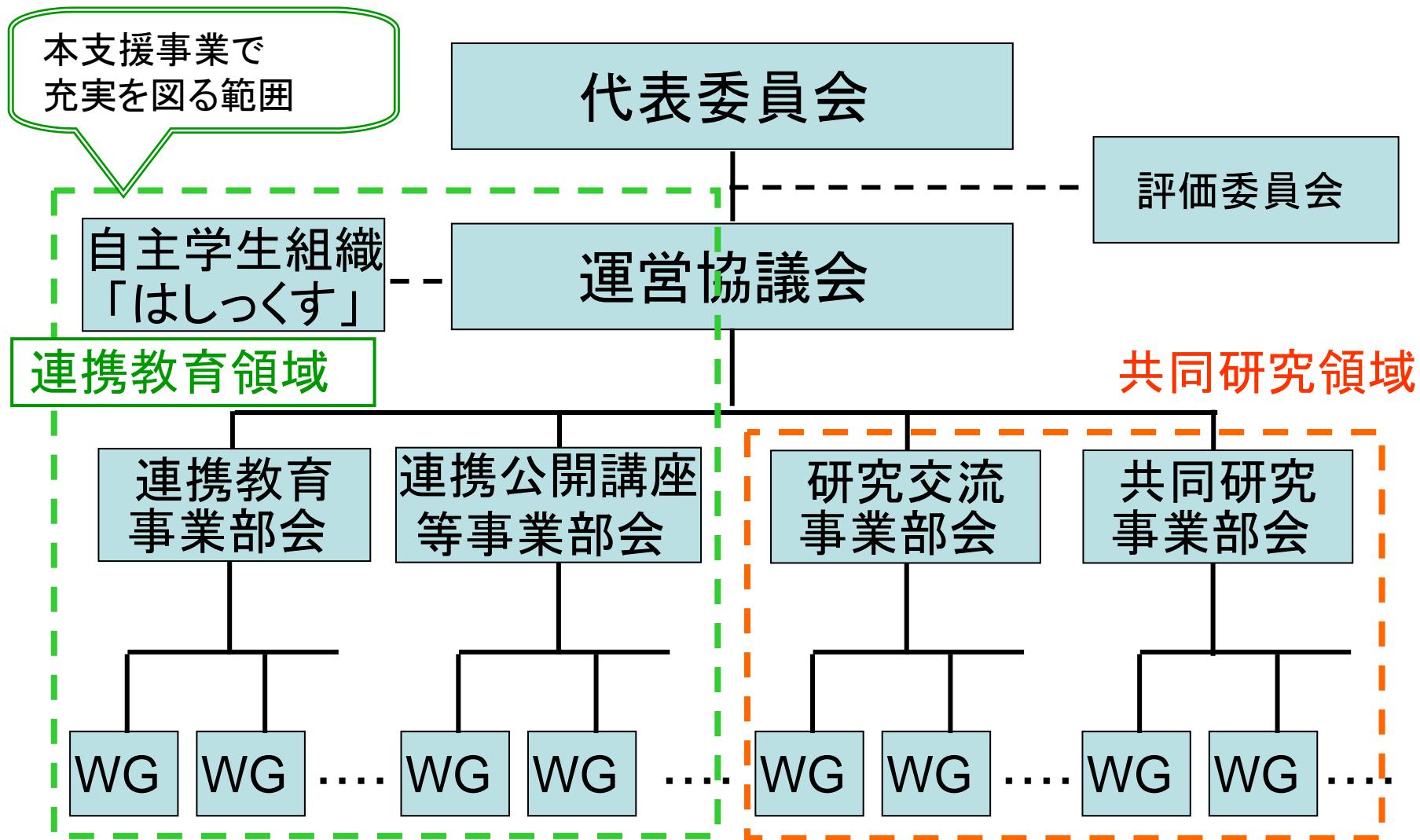
## III. 研究交流事業

- 学術的異分野交流による相互啓発を介した、学術融合・発展を目指した交流
  - コンソーシアム・メンバーのDB公開
  - 外部講師等の共同招聘
  - 旭川エリア産官学民の異業種交流会の開催
  - 市内中心部での交流事業展開による市民への情報発信

## IV. 共同研究事業

- 各高等教育機関の専門領域の活用と融合による特色のある共同研究の立案と実践
  - 医学、看護学、保健・福祉学、教育学、芸術学、デザイン学、工学、環境学、IT、情報学、経済学、コミュニケーション学等の結集と融合・発展
  - 医学的エビデンス等の科学的根拠に基づいた、地域住民の健康（ウェルビーイング）の達成に役立つ研究の推進

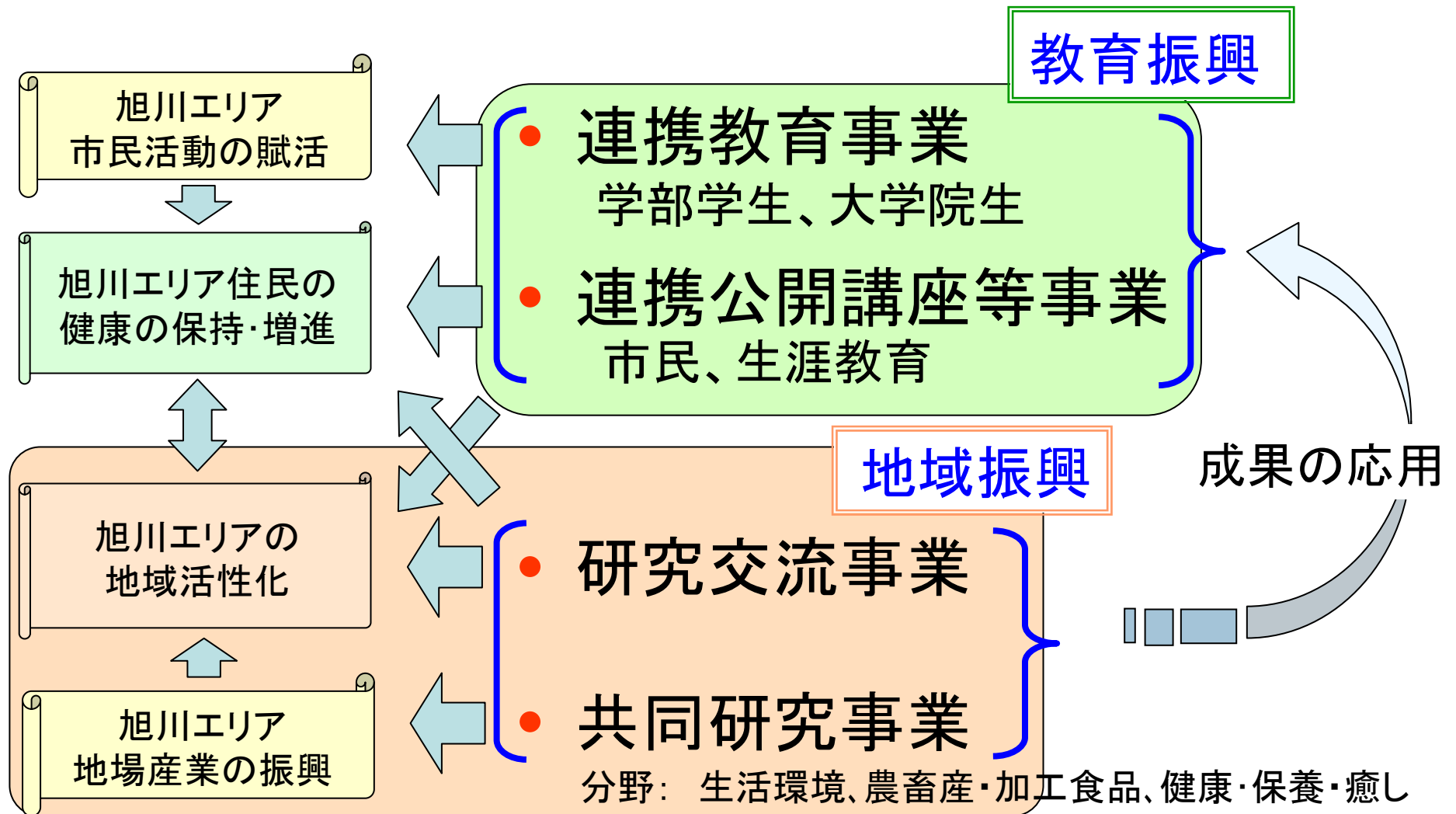
# 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの組織



WG: 各コンソ・メンバー、他、公設研究機関研究者、個別企業、個別組織、一般市民も  
参画して組織。リーダーはコンソ・メンバーから選出。

# 旭川ウェルビーイング・コミュニティの事業を中心とした流れのイメージ

本支援事業の成果としての教育振興は、波及効果として地域振興につながり、この正の連関が繰り返されることで、持続的な総合的な振興が期待される



# 旭川ウェルビーイング・コンソーシアムの活動

